

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】令和 1 年 11 月 28 日 (2019.11.28)

【公表番号】特表 2018-537030 (P2018-537030A)

【公表日】平成 30 年 12 月 13 日 (2018.12.13)

【年通号数】公開・登録公報 2018-048

【出願番号】特願 2018-522916 (P2018-522916)

【国際特許分類】

H 0 4 N 21/434 (2011.01)

H 0 4 N 21/84 (2011.01)

【F I】

H 0 4 N 21/434

H 0 4 N 21/84

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 10 月 18 日 (2019.10.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

エレメンタリーストリームに関する情報を与える少なくとも 1 つのタイプのメタデータから、前記エレメンタリーストリームから復号されたビデオコンテンツをディスプレイの特性に適応させる方法であって、

1 つの特定のタイプのメタデータの存在を示す追加の情報を得ることと、

前記追加の情報および前記ディスプレイの前記特性から、エレメンタリーストリームから復号された前記ビデオコンテンツが前記ディスプレイ上に表示可能かどうかを判定することと、

エレメンタリーストリームから復号された前記ビデオコンテンツが表示可能であると判定された場合は、前記追加の情報および前記ディスプレイの前記特性から、プロセスを選択し、前記選択されたプロセスに従ってエレメンタリーストリームから復号された前記ビデオコンテンツを適応させることと

を含むことを特徴とする、方法。

【請求項 2】

前記追加の情報が、前記エレメンタリーストリームの特定の持続時間の間、前記少なくとも 1 つの特定のタイプのメタデータが信号内に存在するかどうかを示す、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

エレメンタリーストリームに関する情報を与える少なくとも 1 つのタイプのメタデータから、前記エレメンタリーストリームから復号されたビデオコンテンツをディスプレイの特性に適応させるデバイスであって、

- 1 つの特定のタイプのメタデータの存在を示す追加の情報を得、

- 前記追加の情報および前記ディスプレイの前記特性から、エレメンタリーストリームから復号された前記ビデオコンテンツが前記ディスプレイ上に表示可能かどうかを判定し

、
- エレメンタリーストリームから復号された前記ビデオコンテンツが表示可能であると判定された場合は、前記追加の情報および前記ディスプレイの前記特性から、プロセスを

選択し、前記選択されたプロセスに従ってエレメンタリーストリームから復号された前記ビデオコンテンツを適応させる

ように構成されたプロセッサを含むことを特徴とする、デバイス。

【請求項 4】

プログラムがプロセッサによって実行される際に、請求項 1 または 2 に記載のエレメンタリーストリームから復号されたビデオコンテンツをディスプレイの特性に適応させる方法のステップを実行するためのプログラムコード命令を含むコンピュータプログラム製品。

【請求項 5】

少なくとも請求項 1 または 2 に記載のエレメンタリーストリームから復号されたビデオコンテンツをディスプレイの特性に適応させる方法のステップをプロセッサに実行させるための命令を格納したプロセッサ可読媒体。

【請求項 6】

プログラムがコンピューティングデバイス上で実行される際に、請求項 1 または 2 に記載のエレメンタリーストリームから復号されたビデオコンテンツをディスプレイの特性に適応させる方法のステップを実行するためのプログラムコードの命令を保持する非一時的な記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0105

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0105】

多くの実装形態について説明してきた。それにもかかわらず、様々な変更を行えることが理解されよう。例えば、他の実装形態を生成するために、異なる実装形態の要素を組み合わせることも、補足することも、変更することも、除去することもできる。それに加えて、当業者は、開示されるものの代わりに、他の構造およびプロセスを代用することができ、結果として得られる実装形態は、開示される実装形態と少なくとも実質的に同じ結果を達成するために、少なくとも実質的に同じ方法で、少なくとも実質的に同じ機能を実行することを理解するであろう。それに従って、これらのおよび他の実装形態は、この出願によって企図される。

〔付記 1〕

符号化済みのビデオコンテンツのエレメンタリーストリーム (42) に関する情報を与える少なくとも 1 つのタイプのメタデータを有する信号であって、少なくとも 1 つの特定のタイプの前記メタデータの存在を示す追加の情報 (HDR DESCR.) を含むようにフォーマットされることを特徴とする、信号。

〔付記 2〕

前記追加の情報 (HDR DESCR.) が、前記符号化済みのビデオコンテンツの全持続時間の間、前記少なくとも 1 つの特定のタイプの前記メタデータが前記信号内に存在するかどうかを示す、付記 1 に記載の信号。

〔付記 3〕

前記追加の情報 (HDR DESCR.) が、前記メタデータの少なくとも一部も含む、付記 1 または 2 に記載の信号。

〔付記 4〕

前記少なくとも 1 つの特定のタイプの前記メタデータが 1 組の動的メタデータに属する際は、前記追加の情報 (HDR DESCR.) が、

最大動的メタデータリフレッシュレート

その後前記動的メタデータがリフレッシュされる最小時間間隔を含む群に属する第 1 のリフレッシュ情報を含む、付記 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の信

号。

[付記 5]

前記少なくとも 1 つの特定のタイプの前記メタデータが 1 組の動的メタデータに属する際は、前記追加の情報 (HDR DESCR.) が、

最小動的メタデータリフレッシュレート

その後前記動的メタデータがリフレッシュされる最大時間間隔を含む群に属する第 2 のリフレッシュ情報を含む、付記 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の信号。

[付記 6]

前記追加の情報 (HDR DESCR.) が、前記信号のトランスポートストリーム (4 1) に存在する、付記 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の信号。

[付記 7]

前記符号化済みのビデオコンテンツが、高ダイナミックレンジビデオコンテンツであり、前記メタデータが、高ダイナミックレンジメタデータである、付記 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の信号。

[付記 8]

エレメンタリーストリームに関する情報を与える少なくとも 1 つのタイプのメタデータから、前記エレメンタリーストリームから復号されたビデオコンテンツをディスプレイの特性に適応させる方法であって、

1 つの特定のタイプのメタデータの存在を示す追加の情報 (HDR DESCR.) を得ること (1 0 2) と、

前記追加の情報 (HDR DESCR.) および前記ディスプレイの前記特性 (E D I D) から、エレメンタリーストリームから復号された前記ビデオコンテンツが前記ディスプレイ (1 1) 上に表示可能かどうかを判定することと、

エレメンタリーストリームから復号された前記ビデオコンテンツが表示可能であると判定された場合は、前記追加の情報および前記ディスプレイの前記特性から、プロセスを選択し (1 0 5)、前記選択されたプロセスに従ってエレメンタリーストリームから復号された前記ビデオコンテンツを適応させる (1 0 6) こととを含むことを特徴とする、方法。

[付記 9]

前記追加の情報が、前記エレメンタリーストリームの全持続時間の間、前記少なくとも 1 つの特定のタイプのメタデータが信号内に存在するかどうかを示す、付記 8 に記載の方法。

[付記 1 0]

付記 8 または 9 に記載のエレメンタリーストリームから復号されたビデオコンテンツをディスプレイの特性に適応させる方法を実装するように構成されたプロセッサを含むデバイス (2 0) 。

[付記 1 1]

プログラムがプロセッサによって実行される際に、付記 8 または 9 に記載のエレメンタリーストリームから復号されたビデオコンテンツをディスプレイの特性に適応させる方法のステップを実行するためのプログラムコード命令を含むコンピュータプログラム製品。

[付記 1 2]

少なくとも付記 8 または 9 に記載のエレメンタリーストリームから復号されたビデオコンテンツをディスプレイの特性に適応させる方法のステップをプロセッサに実行させるための命令を格納したプロセッサ可読媒体。

[付記 1 3]

プログラムがコンピューティングデバイス上で実行される際に、付記 8 または 9 に記載のエレメンタリーストリームから復号されたビデオコンテンツをディスプレイの特性に適応させる方法のステップを実行するためのプログラムコードの命令を保持する非一時的な記憶媒体。